

研究の概要

1 研究主題

自他のよさを認め合い、よりよく生きようとする児童の育成

～自ら考え、表現する道德教育を通して～

2 研究主題設定の理由

近年、子供たちを取り巻く環境は、グローバル化が進展し続け、多様化が進んでいる。また、急速な情報化や技術革新は私たちの生活を質的にも変化させている。この流れは今後も加速するものと見られ、将来を予測することが困難な時代を生きる子供たちにどんな力を付けていくのかが問われている。こうした課題に対応していくには、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながらよりよい方向を目指す資質・能力を育成する道德教育が大きな役割を果たすと考える。

本校では、長年、道德の研究を積み重ねてきた実績がある。過去2年間は、「自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童の育成～主体的に話し合い、互いに深め合う道德教育を通して～」を主題として、効果的な対話活動の在り方を中心に道德科の授業の工夫・充実を図ってきた。学びづくり部では、自己の生き方について考えを深める道德の授業の充実を図り、対話活動を取り入れた授業実践に取り組んできた。自分づくり部では、自己肯定感を高める取り組みや支持的風土のある学級・学校づくりへとつながる取り組みを行ってきた。仲間づくり部では、仲間のよさを実感できる体験活動や人権・平和教育の推進、道德教育別葉の活用に取り組んできた。

これらの取り組みを通して、互いの考えを認め尊重し、主体的に話し合う姿が見られるようになり、自己肯定感の高まりが見られた。しかし、次のような課題をもつ児童もいる。自分の考えをうまく表現することができない、道徳的な価値は理解できていても、自分事としてとらえることが難しい、などである。これらの課題をふまえ、「自分ならどうするか」「どんな生き方をするか」について考えさせ、他者の考えにふれることのできる表現活動や話し合い活動を仕組み、自らの生活や考えを見つめたりするための具体的なふり返し活動を工夫したり、道德ノートを活用したりして、自ら考え、表現する道德科の授業を実践していく必要があると考える。同時に、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指したICT活用教育の推進として導入された一人一端末の道德科の授業での効果的な活用も模索していきたい。

以上のようなことから、本年度はこれまでの研究を継承して、ふり返し活動の工夫や道德ノートの活用を中心に道德科の授業の工夫・充実を図り、学校教育全体を通じて計画的・発展的な道德教育を行うことで、研究主題に迫りたいと考える。

3 道德教育の重点目標

- 目標を立てて最後までやりぬくことができる。【希望と勇気、努力と強い意志】
- 感謝と思いやりの心で接することができる。【親切、思いやり】
- 自他の生命を尊重することができる。【生命の尊さ】

4 研究の目標

自他のよさを認め合い、よりよく生きようとする児童を育てるために、他者とのかかわりの中で自分自身を見つめたり、ふり返ったりすることで、自ら考え、表現する道徳教育の実践について研究する。

5 研究で目指す児童の姿

自分づくり部

- 自分のよさに気づき、積極的に表現する子供。

仲間づくり部

- 友達と互いに理解し、助け合う子供。

学びづくり部

- 自分の考えをもち、友達と話し合いながら、よりよい生き方について考える子供。

6 研究の内容と方法

(1) 自分づくり部 (心のサポート活動)

- 自己肯定感や自己表現力を高める日常活動の充実
 - ・心タイムの計画、実施
(ぽかぽかカード・心の木カード・構成的エンカウンター)
 - ・自慢大会の計画・スターシールの活用
 - ・Q U、心アンケート、道徳アンケートなどによる実態把握
 - ・スクールカウンセラーによる心の授業
 - ・心を育む環境づくり (掲示の工夫)

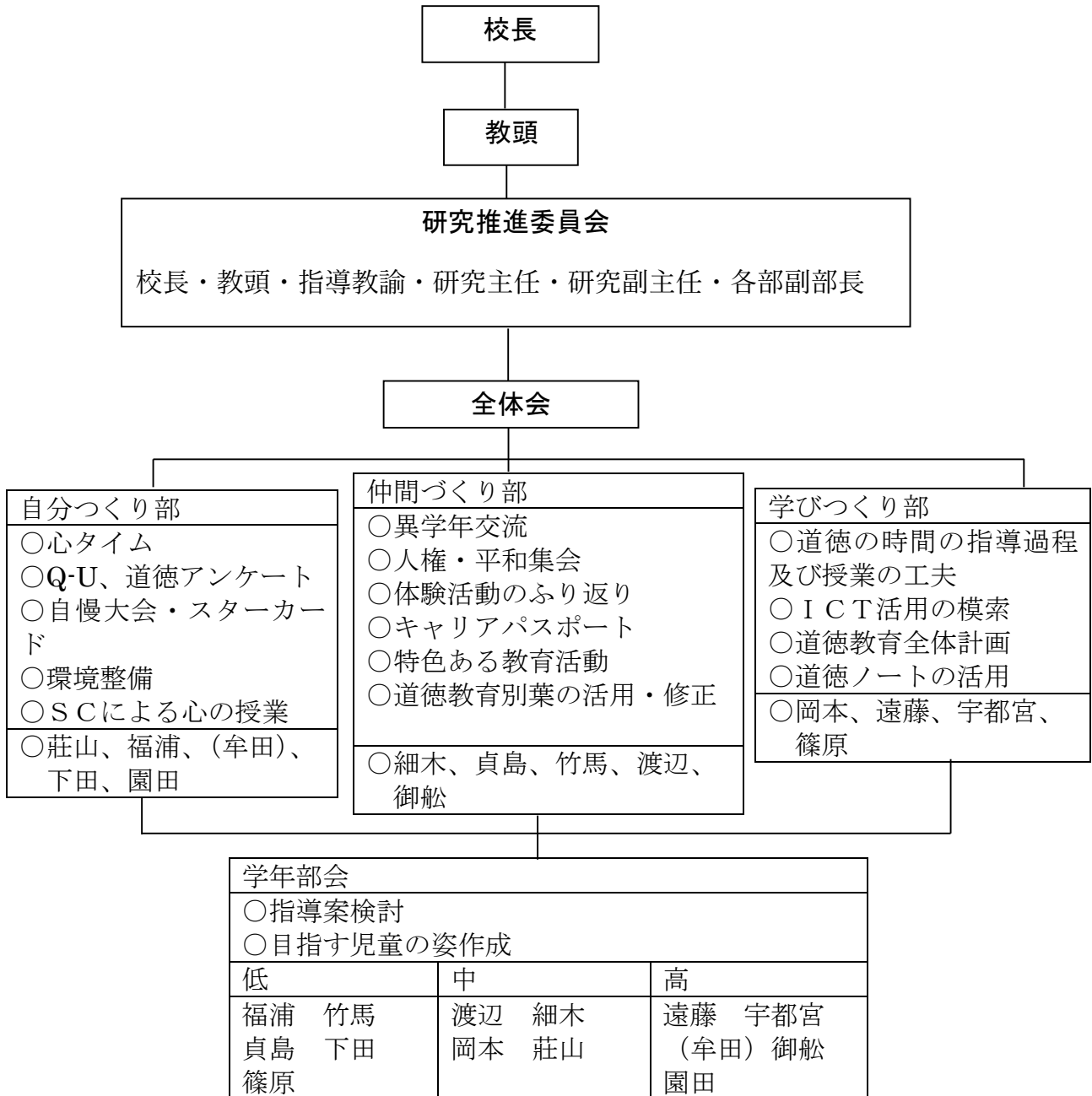
(2) 仲間づくり部 (豊かな体験活動)

- 道徳性を育む豊かな体験活動の充実
 - ・たてわりによる異学年交流活動 (たてわり班対抗遊び)
 - ・人権・平和集会
 - ・児童集会
 - ・体験活動のふり返りの工夫・キャリアパスポート
 - ・特色ある教育活動 (次郎週間など)
 - ・道徳教育別葉の活用と修正

(3) 学びづくり部 (授業づくり)

- 自己を見つめ考える力を育てる道徳の時間の充実
 - ・道徳の時間の指導過程の確立及び授業の工夫
 - ・I C T活用の模索
 - ・道徳教育全体計画、学年年間計画 (教科等との関連指導)
 - ・振り返り活動の工夫と道徳ノートの活用

7 研究の組織



8 研究の計画

令和5年度 校内研究会日程表		
月 日 (曜)	会 議 名	内 容 (概要)
4 月 7 日 (金)	第1回研究推進委員会	校内研究の概要と内容及び組織作りについて
4 月 13 日 (木)	第1回校内研究会	全体会：校内研究の方法と内容及び組織についての提案 部会：研究の内容と方法についての話し合い 学年部会：めざす児童像について検討
5 月 31 日 (水)	第2回校内研究会	全体会：各部からの取り組み提案 指導案の形式提案 学年部会：研究授業日程の検討
7 月 5 日 (水)	第3回校内研究会	第1回授業研究会（全体研） 5年1組 遠藤映枝 指導助言：東部教育事務所指導主事 古賀美奈子先生
7 月 13 日 (木)	第4回校内研究会	第2回授業研究会（グループ研） 6年1組 宇都宮順子
8 月 3 日 (木)	第5回校内研究会	講話「道徳科の授業づくりについて」 講師：東部教育事務所指導主事 古賀美奈子先生 学年部会：指導案検討
10 月 11 日 (水)	第6回校内研究会	第3回授業研究会（全体研） 1年1組 福浦慶太 指導助言：東部教育事務所指導主事 古賀美奈子先生
11 月 日 ()	第7回校内研究会	第4回授業研究会（グループ研） 2年1組 竹馬莉乃
11 月 日 ()	第8回校内研究会	第5回授業研究会（グループ研） 4年1組 細木秋裕
12 月 6 日 (水)	第9回校内研究会	第6回授業研究会（全体研） 3年1組 渡辺健太 指導助言：東部教育事務所指導主事 古賀美奈子先生
12 月 7 日 (木)	第2回研究推進委員会	研究のまとめについて
12 月 13 日 (水)	第10回校内研究会	全体会：2学期の反省、研究紀要について 部会：2学期の反省、研究のまとめ
2 月 7 日 (水)	第11回校内研究会	部会：研究の成果と課題について
2 月 15 日 (木)	第3回研究推進委員会	研究の成果と課題について
2 月 28 日 (水)	第12回校内研究会	全体会：今年度のふり返り